

## 形成外科学講座

### A 欧 文

#### A-a

1. M. Deguchi, M. Kazuto, K. Shigematsu, T. Fujii, K. Namba, M. Ozaki: Specific [<sup>125</sup>I] Bolton-Hunter substance P binding sites in human and rat skin, *Neuroscience Letters*, 99, 287-292 (1989) \* ○
2. S. Mahmud: Hard palate and retropalatal space in adult Japanese dry skulls, *歯科基礎医学会雑誌*, 31, 473-481 (1989)
3. S. Mahmud: Cranial size and its relations to the length of the hard palate and retr opalatal space in Japanese dry skulls, *歯科基礎医学会雑誌*, 31, 597-602 (1989)
4. T. Fujii: Local treatment for extensive deep dermal thickness burn and follow-up study, *Acta Chirurgicae, Plasticae*, 32, 46-56 (1990)
5. S. Syed, S. Kaji, K. Samejima, J. Tsuruta, K. Namba: Osteoarthropathy in Hereditary Sensory Radicular Neuropathy, *Acta Orthopaedica Scandinavica*, 61, 92-94 (1990)
6. K. Kobayashi, N. Mukae, Y. Matsunaga, M. Hotchi: Diagnostic Value of Serum Antibody to Candida In An Extensively Burned Patient: A Case Report, *Burns*, 16, 414-417 (1990) \*
7. S. Syed, K. Onizuka, Y. Yamanobe, T. Fujii, K. Namba: Unilateral VATER Association, *American Journal of Medical Genetics*, 37, 60-6 (1990) \*
8. A. Hirano, K. Tsuneda, G. Nishimura: Unusual fronto-orbital fractures in children, *J. Cranio-Max. -Fac. Surg.*, 19, 81-86 (1991) \*
9. S. A. Syed, Y. Tasaki, T. Fujii, A. Hirano, K. Kobayasi: A new experimental model: the vascular pedicle cutaneous flap over the dorsal aspect (flank and hip) of the rat, *British Journal of Plastic Surgery*, 45, 23-25 (1992) \* ○
10. S. A. Syed, Y. Tasaki, T. Fujii, R. Murakami, K. Kobayasi: Cutaneous Vascular Anatomy of the Thoracic Region of the Dorsum and its Role in Flap Design in the Rat, *Annals of Plastic Surgery*, 29, 420-424 (1992) \*
11. R. Shidayama, S. Kaji, K. Kobayashi, M. Nakamura: Traumatic False Aneurysm of Finger Tip: Case Report, *Scand J Reconstr Hand Surgery*, 26, 113-114 (1992)
12. S. Akita, A. Hirano: A Modification for the Coronal Incision of the Head-A Study of Stress Distribution of the scalp and cranium with Finite Element Method-, *Cleft Palate-Craniofacial Journal*, 30, 382-386 (1992) \*
13. S. Akita, H. Kuratomi, K. Abe, N. Harada, N. Niikawa: EEC Syndrome in a girl with paracentric inversion (7) (p22. 1p 36.3), *Clinical Dysmorphology* (1992)
14. S. Akita, T. Nakamura, A. Hirano, T. Fujii, S. Yamashita: Early Narrowing of Cranial Sagittal Sutures by Thyroid Hormone Administration in Rats, *Journal of Bone and Mineral Research* (1992) \*
15. S. Akita, A. Hirano: Modified Coronal Incision: Distribution of Stress in the Scalp and Cranium, *Cleft Palate -Craniofacial Journal*, 30 (1993) \*

### B 邦 文

#### B-a

1. 梶彰吾、難波雄哉、小林一夫、山本光弘、中島洋子、小倉猛、西野列子、牧野久美、新垣実、山野辺裕二：広範な頭蓋骨壊死および一部に脳熱性壊死を伴った乳児頭部熱傷の1例、*形成外科*、32、55-61 (1989)
2. 梶ひろみ、野田好矩、小林一夫、牧野久美、難波雄哉：幼小児熱傷における発生因子に関する調査—特に家庭環境について—、*熱傷*、15、240-248 (1989)
3. 田中克己、梶彰吾、鬼塚圭子、牧野久美、藤井徹：熱傷を契機として発症したと思われる toxic shock syndrome の2例、*形成外科*、32、521-528 (1989)
4. 山野辺裕二、野田好矩、中島洋子、難波雄哉：顔面規格写真の計測値管理—パーソナルコンピュータによる誤差補正—、*形成外科*、32、487-493 (1989)
5. 難波雄哉：“土ふまず”よりの分層植皮—補遺—、*形成外科*、32、495-501 (1989)
6. 梶彰吾、伊藤孝徳、村上隆一：Mycobacterium chelonae を検出した手の腱鞘炎の1例、*形成外科*、32、623-627 (1989)
7. 難波雄哉：創面被覆材としての allograft と xenograft について、*形成外科*、32、693-702 (1989)
8. 梶彰吾、村上隆一、A. Syed、藤井徹：腸骨外板側切除部位からの遊離腸骨付皮弁の経験、*形成外科*、32、729-733 (1989)
9. 平野明喜、田中克己、藤井徹：頭蓋顎顔面外科領域でのミニプレート使用時におけるテンプレートの有用性について—テンプレートの使用法と利点を中心として—、*形成外科*、32、799-802 (1989)

10. 藤井徹、富満晃弘、牧野久美、志田山了一、堀真：種々の組織像の皮膚癌を多発した疣贅状表皮発育異常症の1例、形成外科、32、833-839 (1989)
11. 藤井徹、坂本美和子、西野冽子、難波雄哉：唇、口蓋裂患者の親に対するアンケート調査、形成外科、32、869-876 (1989)
12. 難波雄哉：両側唇裂二次修正術における反転唇弁の適応について、形成外科、32、1001-1011 (1989)
13. 藤井徹：合指症形成術、形成外科、32、1149-1158 (1989)
14. 梶彰吾、村上隆一、西村剛三、梶ひろみ、S. Mahmud、井本誠司、矢野浩規、藤井徹：口腔底腫瘍摘出時の橈骨付前腕皮弁による一次再建、日本形成外科学会誌、9、221-229 (1989)
15. 平野明喜、田中克己、中島洋子、S. Mahmud、藤井徹、鈴木弘之：日本人におけるおとがい形成について、日本形成外科学会誌、9、440-452 (1989)
16. 西村剛三、梶彰吾、村上隆一、梶ひろみ、山野辺裕二、太田勝哉：遊離腸骨付鼠径皮弁による顎再建の経験、日本形成外科学会誌、9、704-713 (1989)
17. 梶彰吾：温浴による手指掌側角質層におけるしわの発生と知覚との関係についての研究、日本形成外科学会誌、9、841-854 (1989) ○
18. 梶彰吾、田中克己、藤井徹：上口唇熱傷瘢痕への植皮術における人中形成の1方法、日本形成外科学会誌、9、884-891 (1989)
19. 西野冽子、S. Syed、山野辺裕二、野田好矩、藤井徹、難波雄哉：唇裂・口蓋裂の手術を行ったG症候群の1例、日本形成外科学会誌、9、900-907 (1989)
20. 中島洋子、平野明喜、松永芳草、矢野浩規、藤井徹、難波雄哉、奈良崎保男、飯尾礼美：上顎骨 Le Fort 型骨折の診断における翼口蓋窩(単純X線側面像)の意義について、日本形成外科学会誌、9、1026-103 (1989)
21. 野田好矩：顔面規格写真を用いた日本人顔面形態の分析—顔面三分割法、Gonzalles-Ulloa の profile plasty line、Ricketts の esthetic plane の日本人成人女性における側貌評価での有用性について—、日本頭蓋顎顔面外科学会誌、5、5-24 (1989) ○
22. S. Mahmud：頭蓋形態と硬口蓋腔長との関係について、日本頭蓋顎顔面外科学会誌、5、11-23 (1989) ○
23. 藤井徹、梶彰吾、田中直樹、山野辺裕二、秋田定伯、S. Mahmud：下顎骨骨折に伴った神経損傷の2例、日本頭蓋顎顔面外科学会誌、5、69-75 (1989)
24. 梶彰吾、難波雄哉、野田好矩、平野明喜、藤井徹：母指爪甲下 amelanotic melanoma の2例、日本手の外科学会雑誌、6、542-545 (1989)
25. S. Syed、野田好矩、梶彰吾、藤井徹、難波雄哉：Bite injury of the hand：日本手の外科学会雑誌、6、740-744 (1989)
26. 野田好矩、難波雄哉、藤井徹、今里賢一郎、原田健一郎、中島洋子、小林一夫、西野冽子：各種皮膚潰瘍に対するリフラップ軟骨の使用経験、基礎と臨床、23、451-460 (1989)
27. 平野明喜、梶彰吾、藤井徹：非固着性ガーゼ(アダプティック)とシリコンメッシュガーゼの Half side test、基礎と臨床、23、654-657 (1989)
28. 梶彰吾、平野明喜、藤井徹：Ulcer dressing の使用経験、基礎と臨床、23、367-370 (1989)
29. 橋本二郎：赤唇部口輪筋々皮弁による下口唇再建の1例、長崎医学会雑誌、64、151-154 (1989)
30. S. Syed：Effect of different tension and immobilization on denervated muscle transplantation: An experimental study、長崎医学会雑誌、64、256-266 (1989) ○
31. 藤井徹、土田廣、近藤方彰：熱傷肥厚性瘢痕、瘢痕拘縮の予防対策—特に植皮との関係に於いて—、佐世保市立総合病院医学業績集、15、1-6 (1989)
32. 近藤方彰、藤井徹、富満晃弘、田中克己：腋窩症手術の検討—特に Skoog 法を中心に—、皮膚科の臨床、31、773-776 (1989)
33. 川上重彦、塚田貞夫、難波雄哉、野田好矩、荻野洋一、熊谷憲夫、塩谷信幸、宇井謙二、森口隆彦、井上晋文：II度熱傷創に対するリゾチーム軟骨の臨床経験、熱傷、15、109-117 (1989)
34. 志田山了一、藤井徹、筒井賢一：塩化ペルザルコニウム(オスパンR)による化学損傷の1例、日本形成外科学会誌、9、722-726 (1989)
35. 山野辺裕二：写真計測による唇裂患者の下口唇動態の分析—口輪筋機能の評価について—、日本形成外科学会誌、10、828-843 (1990) ○
36. 田中克己、鮫島憲治、藤本博一：血管茎付遊離腸骨皮弁による下顎再建の2例、松江赤十字病院医学雑誌、2、77-81 (1990)
37. 山野辺裕二、難波雄哉：形成外科の雑誌におけるキーワード、形成外科、33、209-214 (1990)
38. 難波雄哉、橋本二郎、藤井徹、田中直樹、金慶熙、田中克己：上顎前方移動術後に反復して大量鼻出血を繰り返した症例について、形成外科、33、239-245 (1990)
39. 難波雄哉：創面被覆材としての軟骨ガーゼとテープについて、形成外科、33、343-348 (1990)
40. 松永芳草、梶彰吾、西村剛三、鶴田純二、田中克己、藤井徹：生後11ヵ月児の中指中節部再接着の経験、形成外科、33、419-423 (1990)
41. 藤井徹、S. Syed、難波雄哉、鬼塚圭子、山野辺裕二：Vater association の3例、日本形成外科学会誌、10、40-47、(1990)
42. 藤井徹：顔面における熱傷瘢痕拘縮の治療、手術、44、523-530 (1990)

43. 平野明喜、田中直樹、板野尚子：脊損患者における尾骨部褥瘡について、形成外科、33、849-855 (1990)
44. 藤井徹：顔面における熱傷瘢痕拘縮の治療、手術、44、523-530 (1990)
45. 平野明喜：頭蓋顎顔面外科領域における骨固定用ミニプレート、手術、44、873-877 (1990)
46. 梶彰吾、村上隆一、西村剛三、山本光宏、志田山了一、迎伸彦、小林一夫、井本誠司、藤井徹：足背、手背の深達性熱傷創への筋膜弁移植、熱傷、16、22-27 (1990)
47. 梶彰吾、平野明喜、西村剛三、村上隆一、田中克己：移植骨として calvarial bone を用いた Wrap-around flap の1例、日本形成外科会誌、10、291-296 (1990)
48. 梶彰吾、西村剛三、鶴田純二、田中保、松永芳章、梶ひろみ、藤井徹、迎伸彦、小林一夫、井本誠司：逆行性指動脈島状皮弁による手指末節の再建、日本形成外科会誌、10、808-821 (1990)
49. 野田好矩、小林一夫、藤井徹：太田母斑に対する新しい治療法一削皮術、雪状炭酸療法との併用療法について一、形成外科、33、23-32 (1990)
50. 迎伸彦、近藤方彰、堂園哲朗、松永芳章、小林一夫、梅原敦子：広範囲熱傷におけるリハビリテーション、熱傷、16、72-77 (1990)
51. 迎伸彦、近藤方彰、小倉猛、小林一夫、板野尚子：尿路結石を合併した広範囲熱傷の1例、熱傷、16、78-82 (1990)
52. 今里賢一郎、藤本博一：ティッシュエクパンダーの使用経験、医療、44、73-77 (1990)
53. 西村剛三：移動あるいは移植された筋肉の生理学的・組織学的変化に関する研究一緊張と固定の影響について一、日本形成外科学会誌、10、689-703 (1990) ○
54. 志田山了一、平野明喜、倉富英治、秋田定伯、安楽邦明、藤井徹：上顎骨切り術後の外鼻の形態変化と鼻形成について、形成外科、34、929-939 (1991)
55. 平野明喜：頭部冠状切開の一工夫、形成外科、34、951-955 (1991)
56. 藤井徹、平野明喜：小児熱傷の関節拘縮の治療一植皮を中心に一、形成外科、34、1273-1281 (1991)
57. 藤井徹：熱傷による体液・電解質異常とその治療、総合臨床、40、827-831 (1991)
58. 藤井徹：局所治療一保存的治療と外科的治療一、救急医学、15、1029-1032 (1991)
59. 藤井徹：首のやけど、腫瘍など、毎日ライフ、6、54-55 (1991)
60. 筒井賢一：創面被覆材における不感蒸泄抑制効果と生命保護効果について、熱傷、17、64-76 (1991) ○
61. 梶ひろみ、梶彰吾、崎戸徹、柳澤明宏、近藤加代子、藤井徹：爪の Parrot beak deformity に対する reverse digital artery island flap による再建、形成外科、34、115-120 (1991)
62. 松永芳章、梶彰吾、藤井徹、迎伸彦、小林一夫：Cross digital artery island flap の経験、形成外科、34、165-171 (1991)
63. 鮫嶋憲治、松永芳章、井本誠司：The reverse flow temporal artery island flap の経験、形成外科、34、289-293 (1991)
64. 梶彰吾、梶ひろみ、筒井賢一、S. Syed：母指軟部組織に発生した血管内皮腫の1例、形成外科、34、715-721 (1991)
65. 梶彰吾、野田好矩、小林一夫、松永芳章、奈良崎保男：巨大な先天性多発性（汎発型）グロームス腫瘍の1例、日本形成外科学会誌、11、246-252 (1991)
66. 藤岡正樹、伊藤孝徳、筒井賢一、柳澤明宏：Fournier's Gangrene（電撃性陰嚢壊死）の1例、日本形成外科学会誌、11、552-556 (1991)
67. 藤岡正樹、伊藤孝徳、筒井賢一、柳澤明宏：Merkel cell tumor の1例、日本頭蓋顎顔面外科学会誌、7、1-6 (1991)
68. 梶彰吾、村上隆一、小林一夫、梶ひろみ、藤井徹：逆行性指動脈島状皮弁による手指末節変形の再建、日本手の外科学会雑誌、8、128-131 (1991)
69. 難波雄哉、平野明喜、今里賢一郎：脊髄損傷に伴う褥瘡への形成外科的アプローチ、総合リハビリテーション、19、638-688 (1991)
70. 新垣実、中島洋子、横内哲博：母指に発生した骨外軟骨腫の一例、形成外科、34、1329-1334 (1991)
71. 西村剛三、梶彰吾、村上隆一、迎伸彦、小林一夫、富満晃弘、山本光宏、志田山了一、矢野浩規：Free temporal fascial flap の経験、形成外科、34、1291-1301 (1991)
72. 山本光宏、梶彰吾、村上隆一、山野辺裕二、中村正也、森浩、藤井徹：広背筋筋皮弁を用いた Cross-leg free flap の経験、形成外科、35、539-543 (1992)
73. 藤井徹、飯尾礼美：熱傷の局所処置、形成外科、35、1255-1258 (1992)
74. 田崎幸博、山野辺裕二、藤井徹：スライドの整理法（分類・管理）（I）、形成外科、35、1417-1420 (1992)
75. 平野明喜、小林一夫、秋田定伯、藤井徹、鈴木弘之：唇顎口蓋裂の顎変形とその治療、形成外科、35、1565-1576 (1992)
76. 志田山了一、藤井徹、藤本博一、田崎幸博、森 浩：気道損傷患者の輸液量に関する検討、熱傷、18、12-16 (1992)
77. S. Syed、田崎幸博、梶彰吾、松永芳章、牧野久美、平野明喜、藤井徹：当科における手足先天奇形症例の検討、日本形成外科学会誌、12、1-9 (1992)
78. 平野明喜：下顎前突症における上下顎骨骨切り術の適応について、日本形成外科学会誌、12、386-398 (1992)
79. 藤井徹、村上隆一：創傷被覆材の現状、外科治療、34、423-425 (1992)
80. 藤井徹、小林一夫：組織拡張機を用いた再建手術、総合臨床、41、3046-3053 (1992)
81. 藤井徹、山本光宏：会陰部熱傷、集中治療、4、301-303 (1992)
82. 藤井徹：熱傷部のドレッシング、熱傷看護、18、674-678 (1992)
83. 平野明喜、藤井徹：上顎変形、メディカルビューポイント、13 (1992)
84. 村上隆一、梶彰吾、西村剛三、山野辺裕二、小林一夫、山本光宏、藤本博一、平野明喜、藤井徹：下肢再建に用い

- た遊離皮弁壊死例の検討、日本マイクロサージャリー学会誌、5、42-49 (1992)
85. 小林一夫、藤井徹：ケロイド肥厚性癬痕の予防と治療、外科診療、34、1177-1181 (1992)
  86. 田中克己：熱傷癬痕拘縮の治療、大分県医学会雑誌、10、303-307 (1992)
  87. 田中克己、村上隆一：マイクロサージャリーを用いた切断肢指再接着および遊離組織移植、大分県医学会雑誌、10、308-312 (1992)
  88. 田中克己、村上隆一、梶彰吾：内側足底皮弁（つちふまず皮弁）による足底荷重部位の再建、大分県医学会雑誌、10、313-316 (1992)
  89. 山本光宏：スポーツ外傷による陳旧性鼻骨骨折の治療経験、九州スポーツ医、科学会誌、4 (1992)
  90. 横内哲博、中島洋子、新垣実：局麻クリームを用いた小外科手術、形成外科、35、31-38 (1992)
  91. 中村正也、梶彰吾、藤井徹：橈骨遠位端骨折に続発した指屈筋腱皮下断裂の1例、形成外科、35、87-92 (1992)
  92. 筒井賢一、伊藤孝徳、村上隆一、藤岡正樹、峯龍太郎：腸骨および神経付き遊離大腿筋膜張筋皮弁で再建した凍傷による全足底・踵骨壊死の1例、形成外科、35、885-889 (1992)
  93. 中尾善亮、小林一夫、河野輝昭：内頸動脈内散弾異物症例、頭頸部外科、64、511-514 (1992)
  94. 藤井徹：皮膚移植術、臨床看護、19、967-970 (1993)
  95. 平野明喜：当科における咽頭弁形成術後の顎発育について、日口蓋誌、18、42-50 (1993)
  96. 村上隆一、崎戸徹、古川雅英、梶彰吾、田中克己、小林一夫、藤井徹、重野浩一郎、隈上秀高：遊離鼠径皮弁による舌・口腔底再建の経験、形成外科、36、1007-1013 (1993)
  97. 村上隆一：わきが、臨床と薬物治療、12、106-108 (1993)
  98. 田中克己、藤井徹、柳澤明宏、田中鴻一郎、重見英男：聴器損傷を合併した雷撃傷の一例、熱傷、19、41-46、(1993)
  99. 山本光宏、藤井徹、平野明喜、村上隆一、小林一夫、飯尾礼美、志田山了一、藤本博一、山野辺裕二：普賢岳火災流による多数熱傷患者への対応とその問題点、日本熱傷学会誌、19、10-18 (1993)
  100. 竹馬聡、鈴木弘之、平野明喜：オトガイ形成術に伴うオトガイ軟部組織変形シュミレーションー1、2次元有限要素法を用いた検討一、日頭顎顔会誌、9、9-17 (1993)
  101. 柳澤明宏、平野明喜、秋田定伯、藤井徹：Computed Radiography を利用した頭部 X 線規格写真の検討、日本形成外科学会誌、12、787-795 (1993)
  102. 梶ひろみ、梶彰吾、鶴田純二、古田千事、井手迪：巨大なアキレス腱黄色腫を free flap で再建した脳腱黄色腫症の1例、形成外科、36、639-699 (1993)
  103. 山本光宏、峯龍太郎、藤井徹、田崎幸博：顔面熱傷患者の経口的気管内チューブ固定法の一工夫、熱傷、19、136-139 (1993)
  104. 竹馬聡、鈴木弘之、大喜雅文、平野明喜、藤井徹：X 線フィルム画像処理像による bone graft 治療成績の評価、日口蓋誌、18、458-459 (1993)
  105. 梶彰吾、藤井徹：血管柄付き遊離腸骨移植による下顎の再建、Plastic and Reconstructive Surgery. ADVANCE SERIES I-1、頭頸部再建外科最近の進歩、123-130 (1993)
  106. 山本光宏、峯龍太郎、江頭通弘、金城浩：顔面皮膚腫瘍に対する皮下茎皮弁の経験、沖縄医学会雑誌、31、15-21 (1993)
  107. 山本光宏、峯龍太郎、松永芳章：顔面軟部組織損傷に対する治療経験、沖縄県医師会報、296、131-134 (1993)
  108. 山本光宏、峯龍太郎、江頭通弘：先天性側頸嚢胞の1症例、沖縄県医師会報、299、12-16 (1993)

## B-c

1. 難波雄哉、藤井徹：小児熱傷治療の進歩、小児医学の進歩'90A、中山書店 (1990)
2. 藤井徹：足趾先天異常の治療の進歩、四肢の形成外科最近の進歩。児島忠雄編著、200-208、東京、克誠堂出版、(1993)

## 原著論文数一覧

	A-a	A-b	A-c	A-d	合計	S C I	B-a	B-b	B-c	B-d	合計	総計
1989	3	0	0	0	3	1	34	0	0	0	34	37
1990	4	0	0	0	4	2	19	0	1	0	20	24
1991	1	0	0	0	1	1	18	0	0	0	18	19
1992	6	0	0	0	6	4	22	0	0	0	22	28
1993	1	0	0	0	1	1	15	0	1	0	16	17
総計	15	0	0	0	15	9	108	0	2	0	110	125

## 学会発表数一覧

	A-a	A-b		合 計	B-a	B-b		合 計	総 計
		シンポジウム	学会			シンポジウム	学会		
1989	0	0	5	5	1	1	48	50	55
1990	0	0	0	0	1	2	32	35	35
1991	0	0	9	9	0	1	60	61	70
1992	0	0	6	6	0	3	59	62	68
1993	0	0	8	8	0	2	36	38	46
総 計	0	0	28	28	2	9	235	246	274

## 原著論文総数に係る教官生産係数一覧

	欧文論文総数 論文総数	教官生産係数 (欧文論文)	SCI掲載論文 欧文論文総数	教官生産係数 (SCI掲載論文)
1989	0.081	0.600	0.333	0.200
1990	0.167	0.800	0.500	0.400
1991	0.053	0.200	1.000	0.200
1992	0.214	1.200	0.667	0.800
1993	0.059	0.200	1.000	0.200
平 均	0.120	0.600	0.600	0.360

## Impact factor 一覧

	Impact factor	1 教官当たり Impact factor	論文当たり Impact factor
1989	2.419	0.484	2.419
1990	1.882	0.376	0.941
1991	0.343	0.069	0.343
1992	6.527	1.305	1.632
1993	0.815	0.163	0.815
平 均	2.397	0.479	1.332